



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2024年8月30日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2024年7月分）

◎ 県内景況は、回復している。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を下回る。

中古車販売台数は前年同月を上回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

☆ 企業倒産：件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報 (2024年7月分)

◎2024年7月 おきぎん「カトリア」景況図



概況：県内景況は、回復している。

7月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を下回りました。中古車販売台数は、前年同月を上回りました。

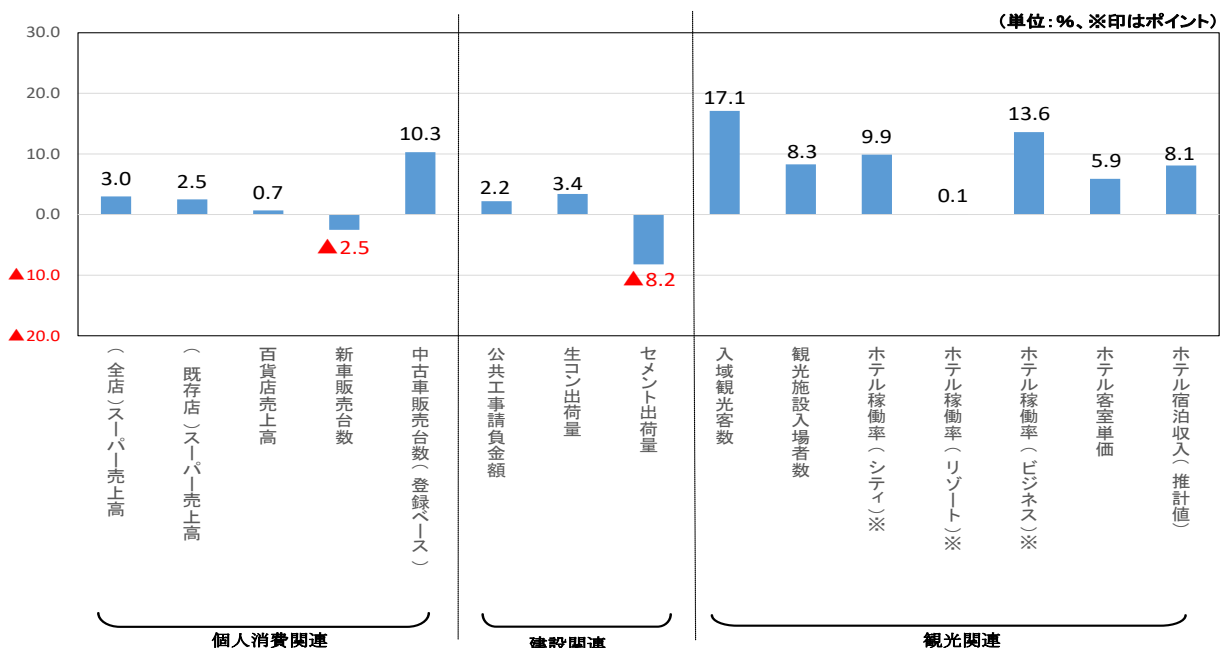
建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コンは前年同月を上回り、セメントは下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設は、公共関連は概ね堅調に推移し、民間関連はこのところ弱含んでいます。観光関連は、外国人観光客の増加などから回復しています。よって、「県内景況は、回復している」と景気判断を据え置きました。

(2023年10月の上方修正から10か月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比(増減率)



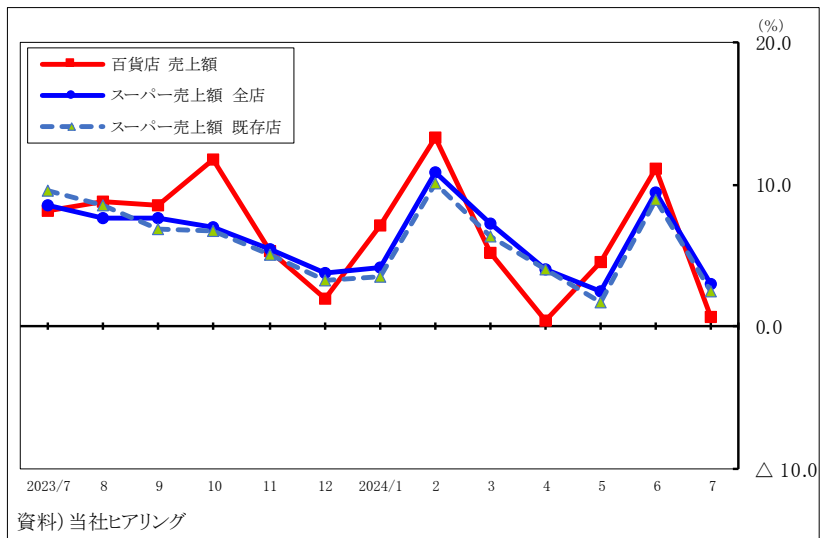


■個人消費： (やや良い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2023/7	8.5	9.6	8.1
8	7.6	8.6	8.8
9	7.6	6.9	8.5
10	7.0	6.7	11.8
11	5.5	5.1	5.3
12	3.8	3.2	2.0
2024/1	4.1	3.5	7.1
2	10.8	10.1	13.3
3	7.2	6.4	5.2
4	4.0	4.0	0.4
5	2.5	1.7	4.5
6	9.4	8.9	11.1
7	3.0	2.5	0.7



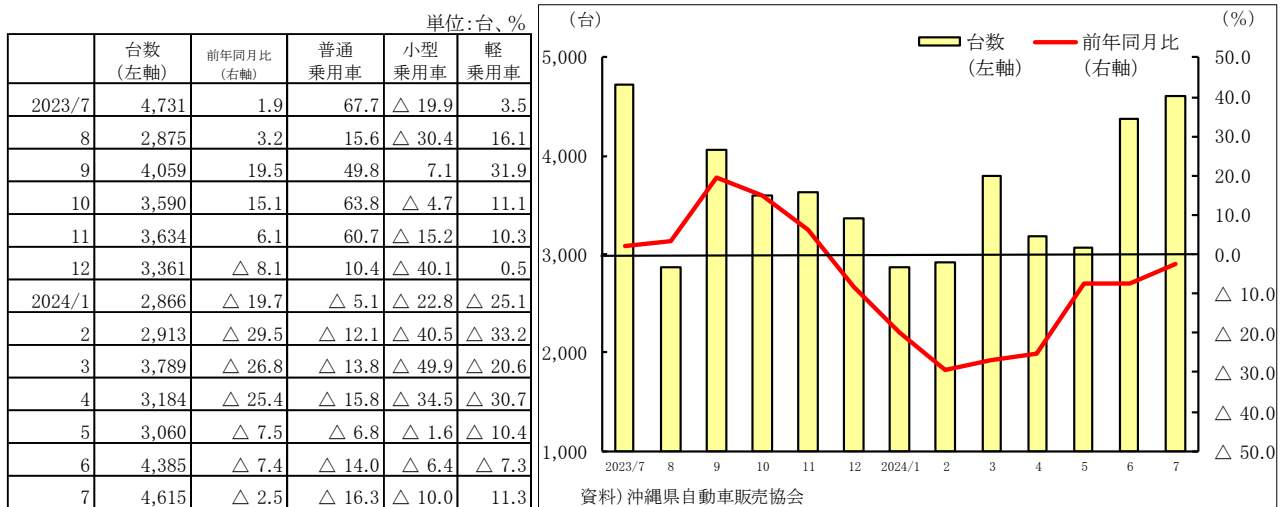
注) 前年同月比

7月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 3.0%増)」は、26 ヶ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 1.8%増)」は、物価高の影響などにより前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 8.6%増)」は、店舗数の増加や県の省エネ施策による売り上げ増加などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 6.4%増)」は、前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 2.5%増)」は、26 ヶ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 1.4%増)」、「家庭用品(同 6.8%増)」、「衣料品(同 6.9%増)」は、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、13 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 0.7%増)。品目別では、「食堂喫茶(同 15.9%増)」は、新店舗開店による客数増加などにより前年同月を上回りました。「雑貨(同 11.2%増)」は、免税売り上げ増加や実施企画の好調などにより前年同月を上回りました。食料品(同 5.7%減)は、前年との旧盆時期の違いなどにより前年同月を下回りました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。

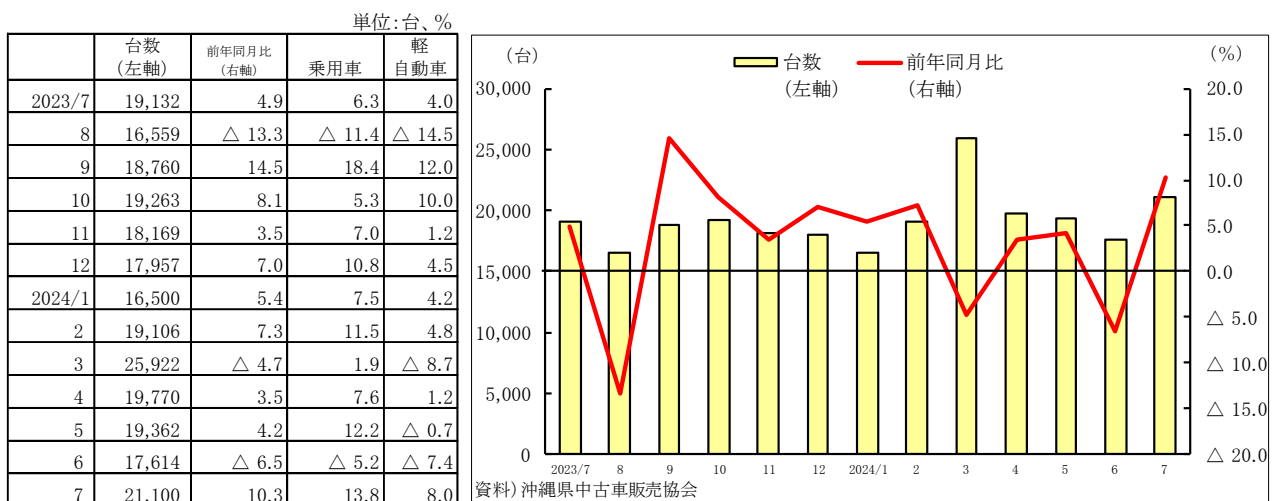


注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で4,615台(同2.5%減)となり、8ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同16.3%減)」、「小型乗用車(同10.0%減)」は、一部メーカーの出荷停止や新規レンタカー登録台数の減少などにより前年同月を下回りました。「軽乗用車(同11.3%増)」は、前年同月を上回りました。

③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。

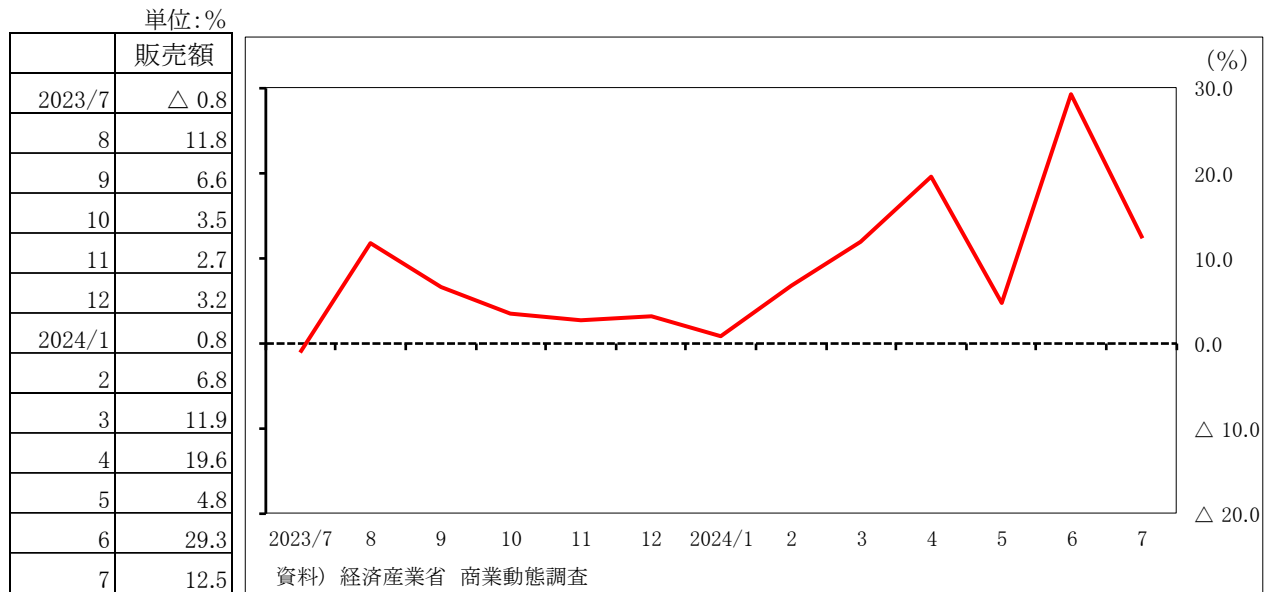


注) 前年同月比

注) 登録ベース

中古車販売台数(登録ベース)は、全体で21,100台(同10.3%増)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車(同13.8%増)」、「軽自動車(同8.0%増)」は、ともに前年同月を上回りました。

④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。



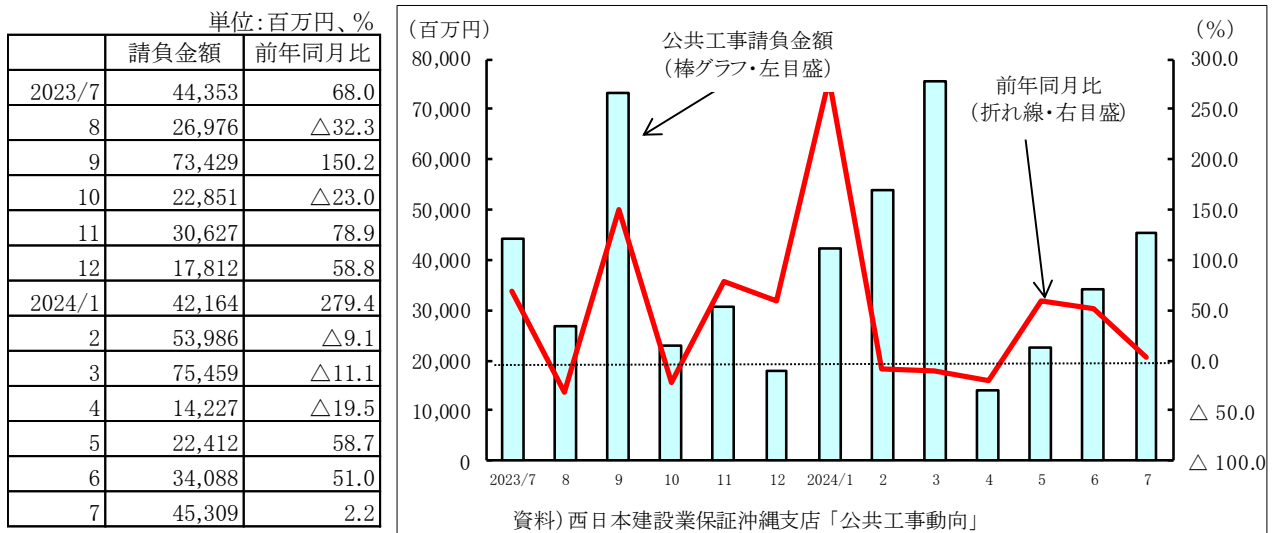
注)前年同月比

7月の大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。

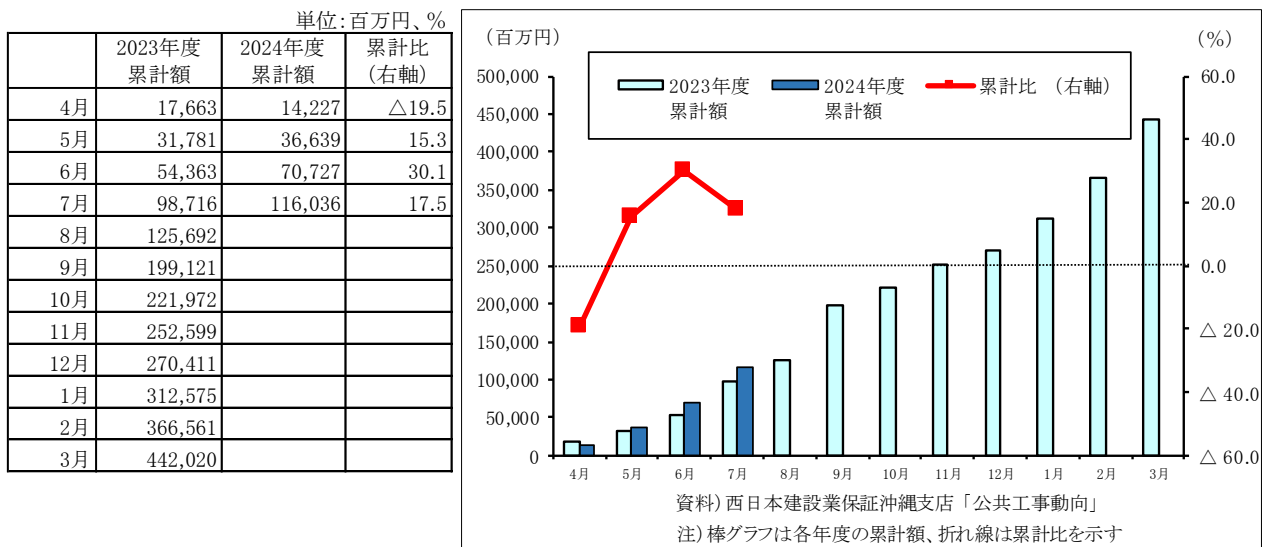


■建設関連： (ふつう)

① 公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



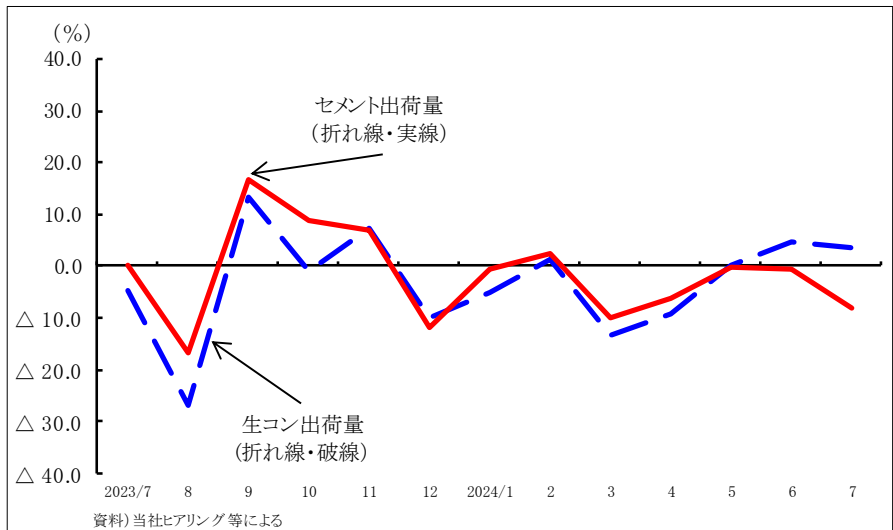
7月の公共工事請負金額は、前年同月比 2.2%増の 453 億 900 万円となりました(3ヵ月連続で増)。

発注者別でみると、「沖縄県(同 53.2%増)」、「国(同 23.0%増)」、「市町村(同 15.5%増)」、「その他の公共的団体(144.0%増)」は前年同月を上回りました。一方、「独立行政法人等(39.3%減)」は前年同月を下回りました。

② 建設資材・・・生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

単位:前年同月比 (%)

	生コン	セメント
2023/7	△ 4.7	0.0
8	△ 26.9	△ 16.6
9	13.2	16.6
10	△ 1.0	8.6
11	7.2	6.9
12	△ 9.9	△ 12.0
2024/1	△ 5.2	△ 0.5
2	1.4	2.4
3	△ 13.5	△ 10.1
4	△ 9.2	△ 6.2
5	0.1	△ 0.4
6	4.8	△ 0.6
7	3.4	△ 8.2



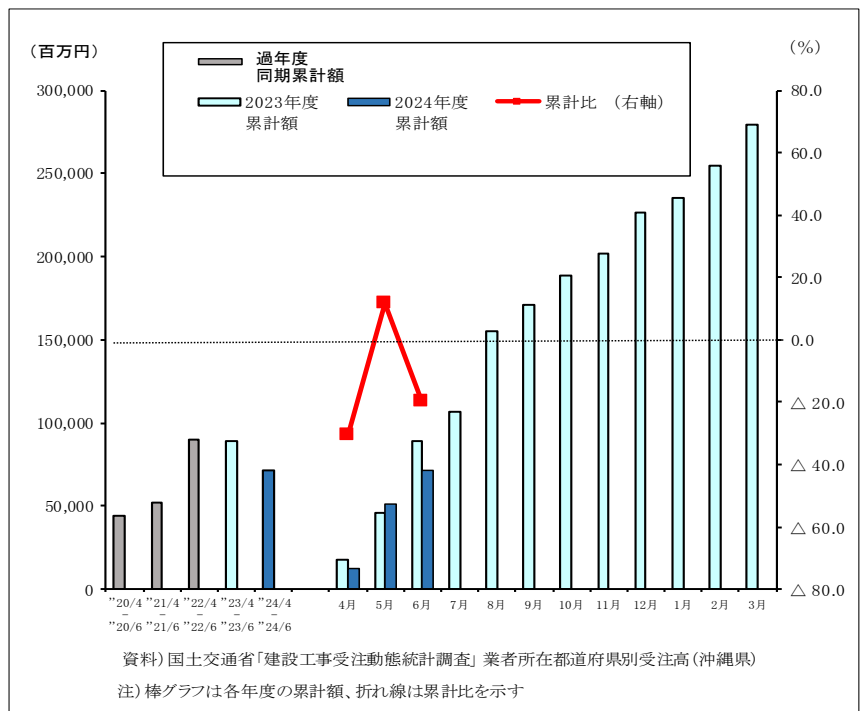
(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は 3.4%増と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳をみると、民間工事向けは、中南部地区、宮古地区、北部地区での出荷が増加したことなどから前年同月を 7.6% 上回りました。一方、公共工事向けは、中南部地区、石垣地区、北部地区での出荷が減少したことなどから前年同月を 4.8% 下回りました。**セメント**の出荷量は、8.2%減と5ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ 【参考】民間等元請受注 (年度累計) …前年同期を下回る。

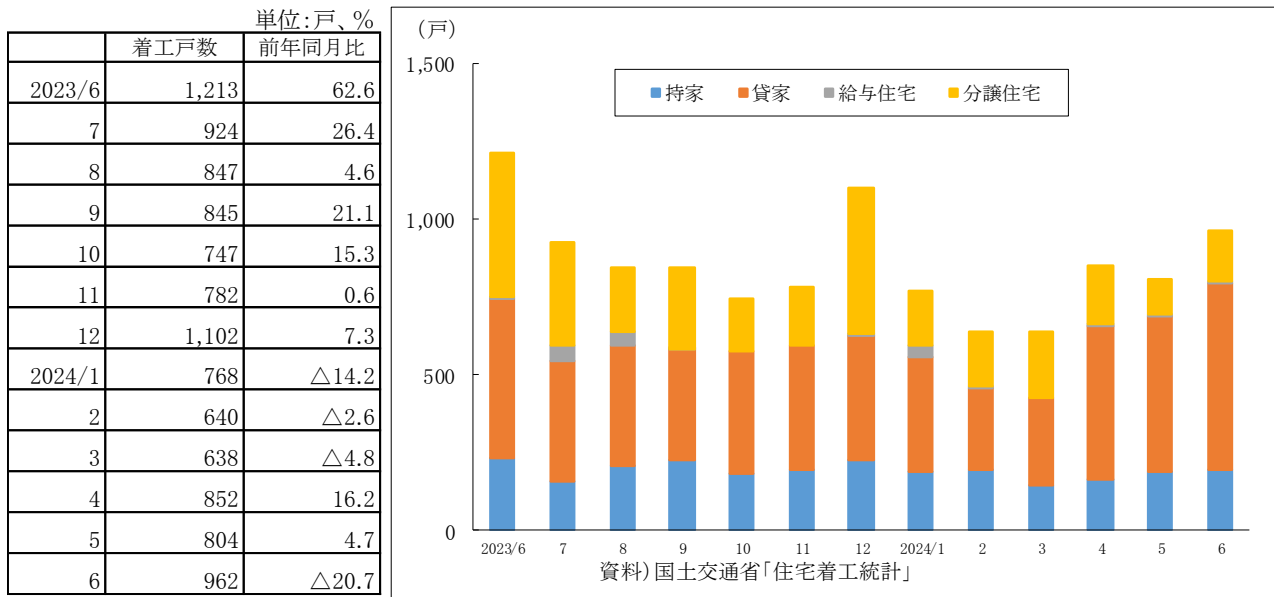
単位:百万円、%

	累計額		
''20/4			
-''20/6	44,242		
''21/4			
-''21/6	52,272		
''22/4			
-''22/6	89,558		
''23/4			
-''23/6	88,815		
''24/4			
-''24/6	71,203		
	2023年度 累計額	2024年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	18,069	12,551	△30.5
5月	45,654	51,037	11.8
6月	88,815	71,203	△19.8
7月	106,797		
8月	155,056		
9月	170,863		
10月	189,095		
11月	202,154		
12月	226,690		
1月	235,764		
2月	254,964		
3月	279,940		



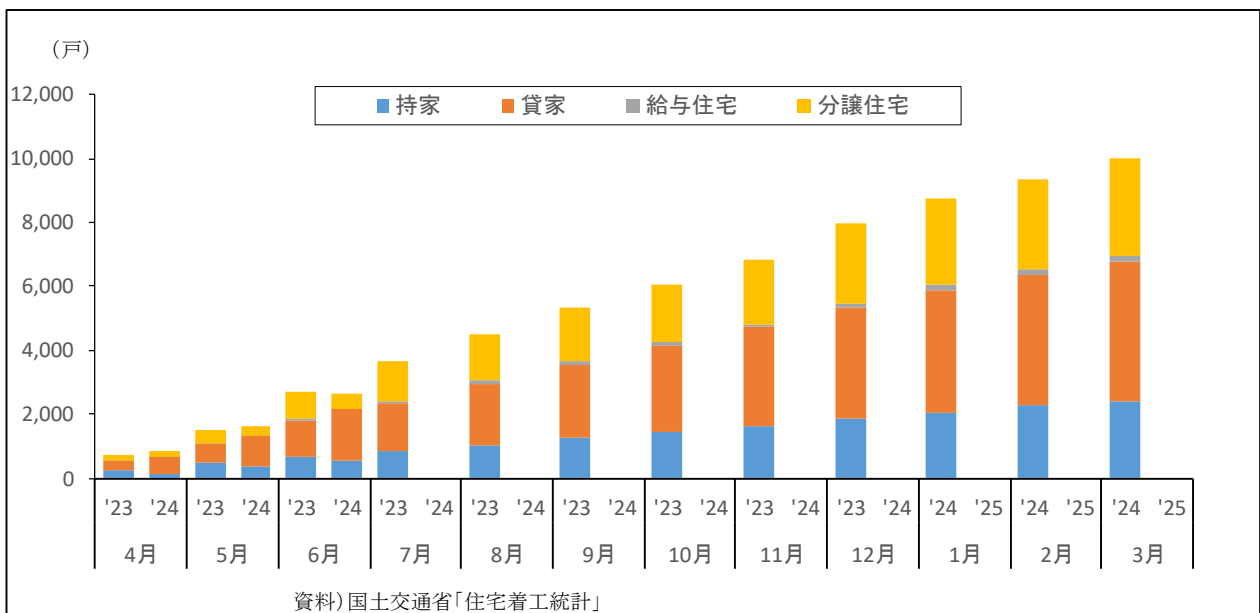
2024 年度累計値では、19.8%減となっています。

④ 【参考】住宅投資・・・着工戸数は前年同月を下回る。



6月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比20.7%減の962戸となり、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同64.7%減)」、「持家(同15.2%減)」は前年同月を下回りました。一方、「貸家(同16.0%増)」、「給与住宅(同75.0%増)」は前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。



2024年度累計値では、3.5%減となっています。



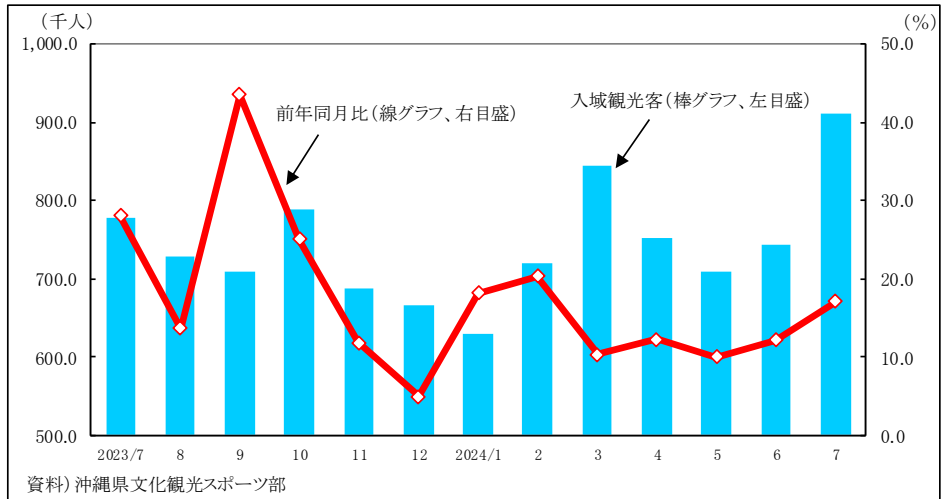
■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2023/7	778.8	28.1
8	728.6	13.7
9	710.1	43.5
10	788.3	25.0
11	688.2	11.9
12	666.7	5.0
2024/1	629.2	18.2
2	719.2	20.3
3	845.1	10.3
4	752.3	12.3
5	710.0	10.0
6	744.5	12.2
7	912.0	17.1

※外国客は乗務員等を含む



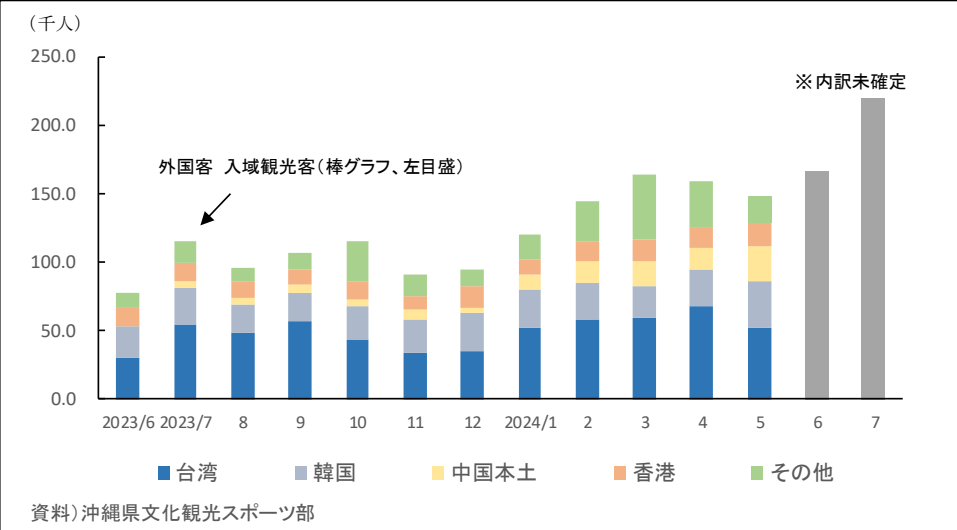
外国客入域観光客数・・・前年同月を上回る。

単位:千人、倍

	入域観光客	前年同月比
2023/6	77.7	N/A
2023/7	115.2	N/A
8	96.4	964倍
9	106.6	N/A
10	115.4	42.7倍
11	91.1	7.5倍
12	95.2	2.9倍
2024/1	120.4	2.7倍
2	144.8	3.3倍
3	164.1	2.6倍
4	158.9	2.4倍
5	148.5	2.1倍
6	166.9	2.1倍
7	219.7	1.9倍

※外国客は乗務員等を含む

※前年同月比は倍率表示、グラフへの反映はなし。前年が0千人の月はN/Aにて表示。



7月の入域観光客数は、外国人観光客の増加や航空会社各社のタイムセールなどにより 133,200 人多い 912,000 人 (前年同月比 17.1%増) となり、32 ヶ月連続で前年同月を上回りました。国内客では、28,700 人多い 692,300 人 (前年同月比 4.3%増) となりました。

(参考) 2019 年同月比 (国内客・外国客の合計) では、51,600 人減少 (5.4%減) と下回っています。

2019 年同月比 (国内客) では、31,500 人増加 (4.8%増) となっています。

外国客入域観光客数は、219,700 人となりました (空路 130,700 人、海路 89,000 人)。今後も外国客数の緩やかな回復が見込まれています。海路では、台湾からの海外クルーズが好調に推移し、中国においても回復しています。

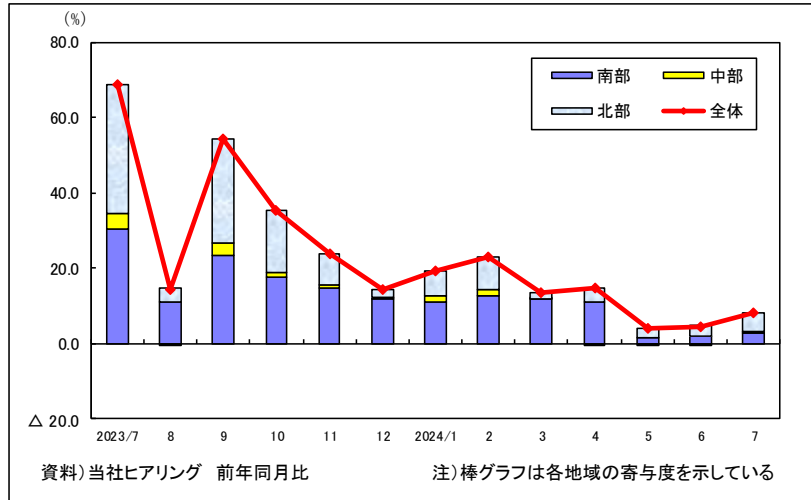
②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位：％

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2023/7	68.9	110.9	54.0	53.1
8	14.4	40.3	△ 1.3	5.5
9	54.2	77.9	51.1	43.3
10	35.3	51.0	12.1	29.7
11	23.7	36.7	11.3	15.9
12	14.3	34.0	2.8	3.9
2024/1	19.3	32.7	16.3	11.8
2	23.0	35.7	17.8	15.8
3	13.4	35.5	0.1	2.8
4	14.7	30.0	△ 0.4	7.1
5	3.9	3.7	△ 2.3	5.0
6	4.3	4.4	△ 7.4	5.9
7	8.3	8.8	0.4	9.0

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



7月の**観光施設入場者数**は、全体では8.3%増となり28ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別で見ると、北部の観光施設は9.0%増、南部の観光施設は8.8%増、中部は0.4%増となりました。施設別で見ると、レジャー施設は全体的に堅調にある一方、歴史文化施設は伸び悩んでいます。

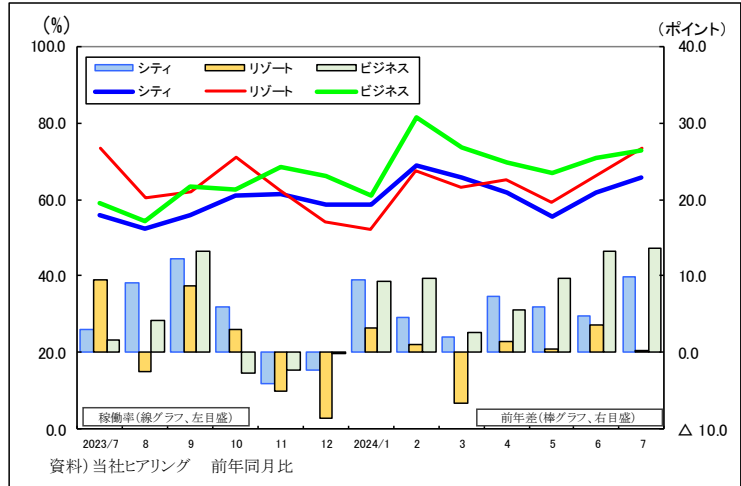
(参考)2019年同月比では、全体で28.1%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は34.0%の減少、南部は20.7%の減少、中部は47.8%の減少となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、ビジネスホテルは前年同月を上回り、リゾートホテルは下回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2023/7	56.0	73.4	59.1	3.0	9.5	1.6
8	52.5	60.5	54.4	9.1	△ 2.5	4.1
9	55.8	62.1	63.4	12.3	8.7	13.2
10	61.1	71.1	62.6	5.9	2.9	△ 2.7
11	61.5	62.3	68.3	△ 4.0	△ 5.1	△ 2.4
12	58.5	54.2	66.2	△ 2.4	△ 8.7	△ 0.2
2024/1	58.5	52.2	60.9	9.5	3.1	9.3
2	69.0	67.6	81.3	4.5	1.1	9.7
3	65.8	63.3	73.5	2.1	△ 6.7	2.7
4	61.7	65.2	69.6	7.4	1.5	5.5
5	55.4	59.3	66.8	6.0	0.5	9.6
6	61.7	66.5	70.9	4.7	3.6	13.3
7	65.9	73.5	72.7	9.9	0.1	13.6

注) シティ7ホテル、リゾート15ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



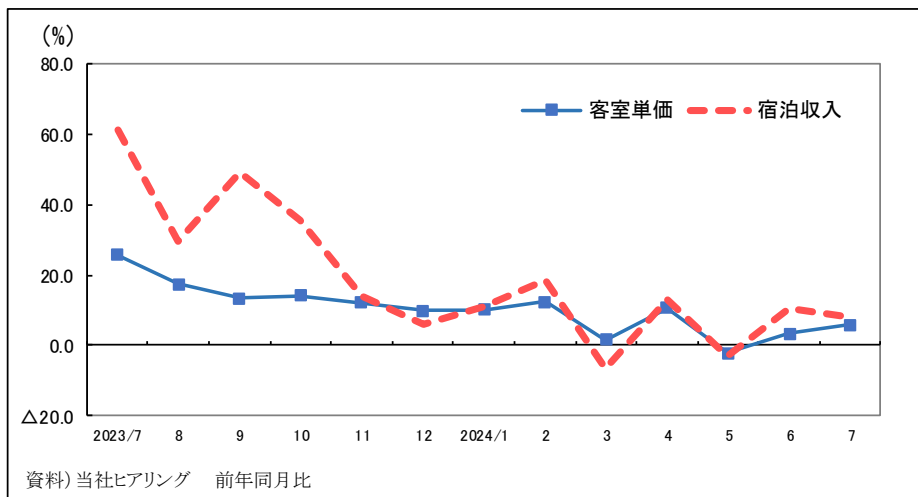
県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比 9.9 ポイント増加、リゾートホテルは 0.1 ポイント増加、ビジネスホテルは 13.6 ポイント増加しました。

(参考) 2019 年同月比では、シティホテルは 12.3 ポイントの減少、リゾートホテルは 8.4 ポイントの減少、ビジネスホテルは 9.1 ポイントの減少となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2023/7	25.7	61.4
8	17.3	29.6
9	13.3	49.2
10	14.2	35.7
11	12.1	14.3
12	10.0	5.9
2024/1	10.3	10.9
2	12.4	18.4
3	1.7	△6.4
4	10.7	13.3
5	△2.2	△2.9
6	3.4	10.4
7	5.9	8.1



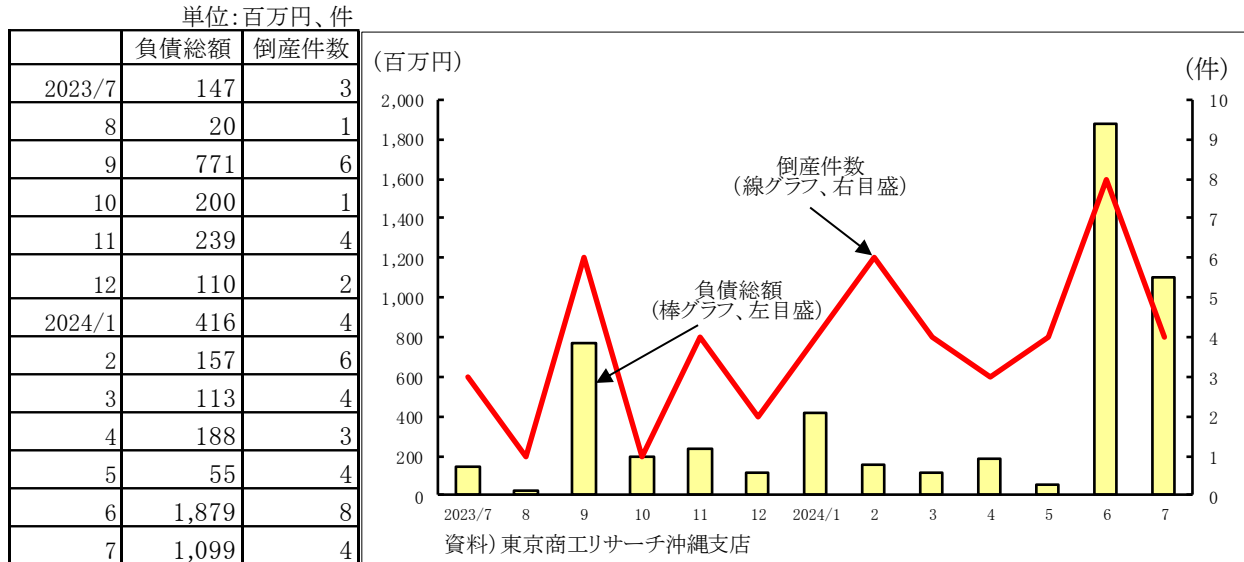
※対象施設数: 22施設 (シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く
※客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額 (稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は 5.9%増と2ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入は 8.1%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考) 2019 年同月比では、客室単価は 23.7%の増加、客室収入は 2.8%の減少となっています。

■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を上回る。



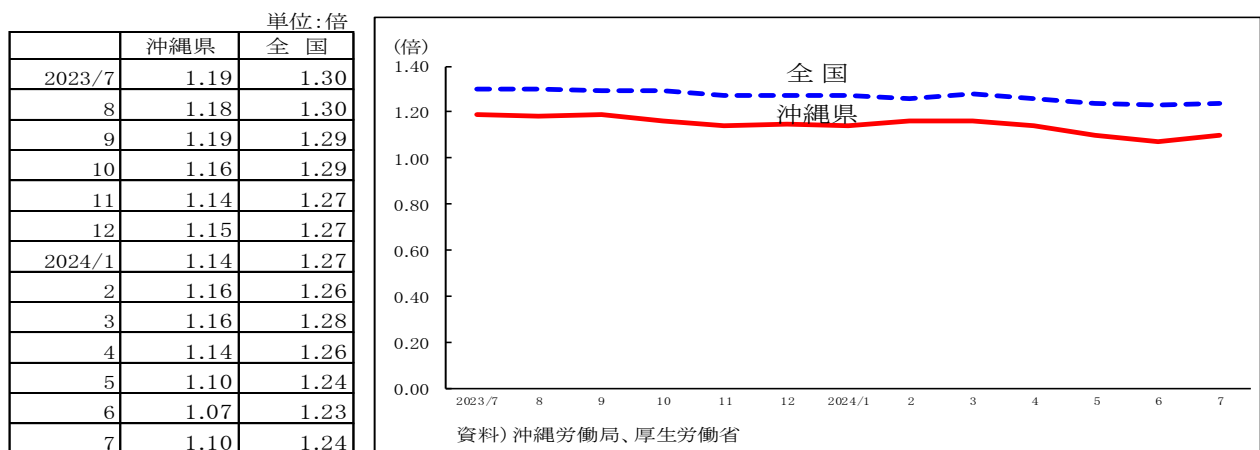
注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

7月の企業倒産件数は4件(うち1億円以上 10 億円未満の大口倒産は2件)となり、前年同月を33.3%上回りました。

負債総額は10 億 9,900 万円となり、前年同月より647.6%上回りました。

■雇用関連： (やや良い)

①有効求人倍率・・・沖縄と全国はともに前月より上昇。



注) 季節調整済

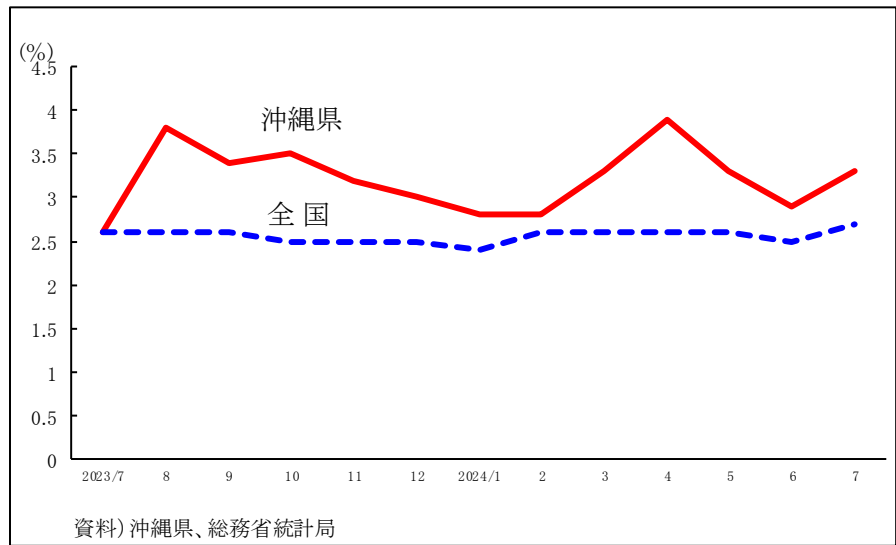
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

7月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比1.1%増の32,051人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.6%減の29,090人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.10倍と、前月より0.03ポイント上昇しました。

②完全失業率・・・沖縄と全国はともに前月より上昇。

単位:%

	沖縄県	全国
2023/7	2.6	2.6
8	3.8	2.6
9	3.4	2.6
10	3.5	2.5
11	3.2	2.5
12	3.0	2.5
2024/1	2.8	2.4
2	2.8	2.6
3	3.3	2.6
4	3.9	2.6
5	3.3	2.6
6	2.9	2.5
7	3.3	2.7



注) 季節調整済

7月の完全失業率(季節調整値) は、3.3%となり前月より0.4ポイント上昇しました。